平成２５年度　社団法人日本環境アセスメント協会　技術交流会　展示発表

平成２５年１２月４日（水）開催

３．国営昭和記念公園における生物関連情報の分析及び活用

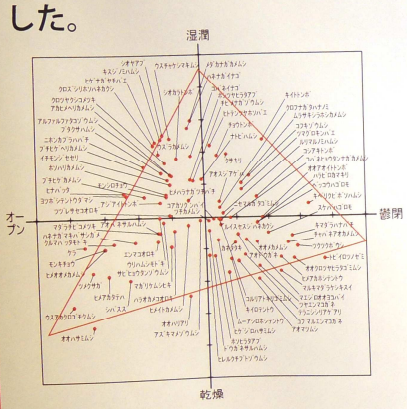
㈱緑生研究所

当社では、国営昭和記念公園において、生物モニタリング調査を通じて経年的に蓄積されてきた生物情報を、「環境構造・生物生息環境の分析」「園内における生態系管理」「来園者への情報提供」などへ、多面的に活用するための手法を検討しましたので、その技術紹介をさせていただきます。

野生生物情報の分析と活用 － 国営昭和記念公園の事例 －

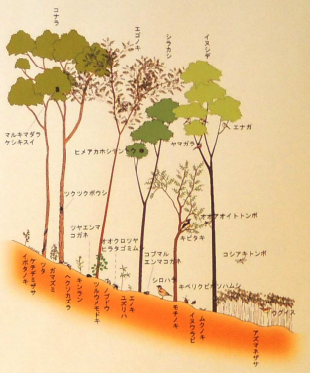
■生き物と環境との関係の分析

生物群集と環境構造の関係性を把握・評価するために、GIS解析および複数の多変量解析手法を組み合わせて分析し、公園が有する生物生息環境としての機能を評価した。



正準対応分析によって環境構造の軸上にプロットされた昆虫類の位置。オープンスペースの草地環境は湿性から乾性まで広い幅をもち、それぞれの環境に対応した典型的な種が分布していることが明らかになった。

生物と環境との対応の分析に基づく環境類型区分図。樹林・草地・水辺に代表される園内の主要な環境要素は、それぞれに特徴的な生物相を成立させており、生物生息場所としての性格が明瞭に分かれる解析結果となった。



生態環境断面図（樹林の類型）。生物と環境との関係の分析結果を視覚的に表現するために、環境類型と対応付けられた生物を模式的に描き込んだ。

■生物調査

（植物、哺乳類、鳥類、昆虫類、両生類・爬虫類、水生生物）

■生態環境管理

樹林・草地・水

性まで広い幅をもち、それぞれの環境に対応した典型的な種が分布していることが明らかになった。

れぞれに特徴的な生物相を成立させており、生物生息場所としての性格が明瞭に分かれる解析結果となった。

型に

■生物調査

（植物、哺乳類、鳥類、昆虫類、両生類・爬虫類、水生生物）

■生き物情報のいろいろな活用

来園者に対してさまざまな形で生き物情報を提供するために、現地調査で得られた素材をもとに、公園の生き物紹介ホームページ「公園図鑑」、ＱＲコードによる生き物解説システム、季節の生き物紹介パンフレット等を作成した。

生物情報ホームページ「公園図鑑」の動画ページ。
左上はミンミンゼミの羽化シーンの再生画面。

ＱＲコードを活用した生き物解説システム。園内の主な生物生息拠点に設置されるＱＲコードを携帯電話で読み取ると、解説と写真が表示される。

生き物紹介パンフレット（初夏～夏編）。早春～春編、初夏～夏編、秋～冬編の３種類で、主な生物生息エリアで見られる生き物を紹介。公園の自然再生の取り組みも解説。Ａ４サイズ三つ折り。

型と対応付けられた生物を模式的に描き込んだ。

生画面。

コードを携帯電話で読み取ると、解説と写真が表示される

■生態環境管理手法の検討・提案

樹林・草地・水辺など、園内における生物の主要な生育・生息拠点ごとに、エコアップ（環境の質の向上）に資するために取り組むべき生態環境管理手法を検討し、環境の連続性の向上や外来種防除手法についても検討・提案した。

公園内の樹林・草地・水辺の環境

株式会社
緑生研究所
http://www.ryokusei-ri.co.jp/